

# 三月末の完成めざす

## 市民体育館 順調に工事進行

五十五年開催の栃の葉国体では「山岳」と「剣道」が日光を会場に行われますが、その剣道の会場に予定されている「市民体育館」の新築工事は、相生町の元日光市場隣りに、昨年七月三日起工、今春の完工めざして、突貫工事が進められています。当初予定された五月より早く、三月末までには、竣工するはこびとなりました。今年、この会場を使つてのプレ国体も開かれ、市民のスポーツの殿堂としての活用も大いに期待されます。

この市民体育館は二階建てで、全長六〇メートル、幅三〇メートル、高さ一八メートル、延床面積は二、一三六・五二平方メートルあります。



一階の床面積は一、六五八・三八平方メートルあり、そのほとんどを占める体育室は、一、〇五六、五八平方メートルの広さです。公式バスケットボールコートは一面、練習用だと二面とれます。公式バレーボールコートも一面で、練習用も同じく二面です。公式バドミントンコートは六面で、卓球台なら二十台が入ります。鉄棒競技もできるように、鉄棒が備えら

れるようになっていきます。そのほか一階には、運動用具を入れる器具庫が二カ所、トレーニング用器具を備えたトレーニング室、更衣室とシャワー室が男女別にそれぞれ二カ所、ロビーホール事務室、電気室、湯沸かし室、それに休養室などがあります。また身体障害者がスムーズに見学でき

るようにと、身体障害者用のスロープと便所も設けられています。二階の床面積は、四七八・一三平方メートルあり、四十八畳敷きの柔道場をはじめ、市民や選手がウォーミングアップをしたり、指導員が助言をする体育指導室、ギャラリー、会議室、運動器具などを入れる倉庫が四カ所、湯沸かし室、それに放送室などがあります。

観客は、二階周囲のギャラリから観戦することになりますが、柔道場と体育室の間が、ガラス張りになっていて、柔道場からも体育室の競技が観戦できます。

### 市で

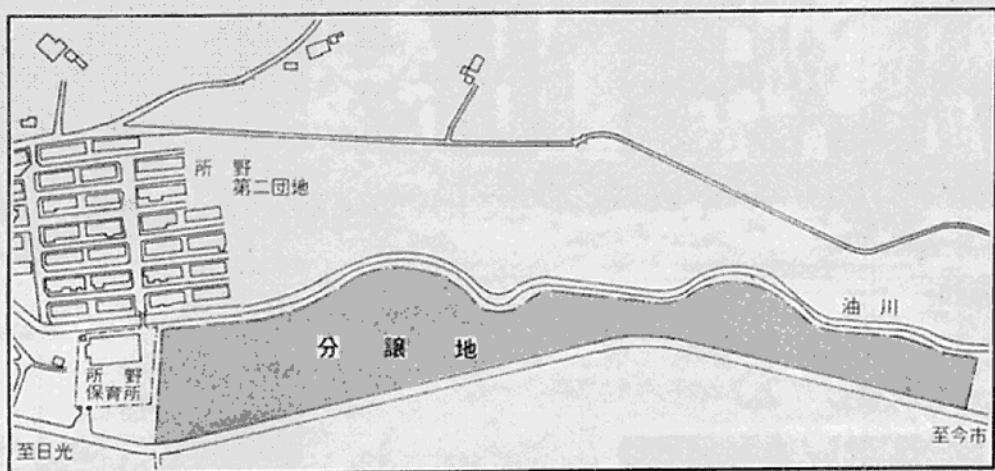
#### 宅地造成を

##### 計画

#### 所野に約五十区画

市では、過疎化対策の一環として市有地を造成し、住宅を建設するための土地を必要としている方々に、分譲を行う計画を進めています。

宅地造成を予定している場所は、所野保育所東隣の市有地二・九ヘクタールです。日光・宇都宮道路の日光・清滝インター間のトンネル工事が出た土を利用して、約五十区画の宅地を造成し、昭和五十四年度から分譲する計画です。



シリーズ  
(タイトル募集中)  
(5ページ参照)  
香車堂と  
陰陽石

表紙のことは

神橋付近を起点に、稲荷川に沿って滝尾神社まで、参道のあちこちに史跡が散在する。老杉の中の苔むした古い石畳の道は、そこを歩くだけでも、時をさかのぼり、一瞬歴史の中の旅人にもしてくる。この道、現代風に名付けて「史跡探勝路」。その史跡の大半が、ささやかな庶民信仰と結びついていて、そのいくつかは、現在でも、立派に信仰の対象であるのがうれしい。香車堂は、参道の出发点にある。朱塗りの開山堂のすぐわき、石柵に囲まれた小さな社だ。産の宮とも観音堂とも呼ばれる。社の階段いっばいに、ところせましと、将棋の駒が並べられているのが目をひく。そのほとんどが香車である。香車は戻らずに直進する駒なので、安全の折願をこめて奉納する。妊娠するとこの社に詣で、気にいった駒を一つ借り